



冬を楽しむ

寒さの厳しい今年の冬。大雪こそないですが、何度も校庭は真っ白になりました。そんな時は何も言わずとも子ども達は校庭へ飛び出して、雪だるまつくりや雪合戦などに興じます。コロナ禍のうつうつとした気持ちを吹き飛ばすかのように、冬をしっかりと楽しんでいる龍江の子です。

それにしてもまん延防止等重点措置の延長により、参観日の中止をはじめとして諸行事の変更が相次ぎ、ご迷惑をかけています。オミクロン株の感染力の強さには驚かされます。

周囲に陽性者や接触者が出た時、自分や家族に風邪症状がある時などは自宅待機で様子をみていただくことが、感染拡大を防ぐ第一歩のようです。引き続きご協力をお願いいたします。



2月校長講話より (抜粋) ～アップルキッズの森にこめられた願い～



(開園式の様子やりんごの生長の様子を写真で紹介してから)

さて、どうして龍江小にはりんご園があるのでしょうか？今までも話してきたこともありますし、高学年では知っている人も多いと思います。

飯田市の市長をされていた清水重美さんという人が亡くなられた後、沢山のお金が飯田市に寄付されました。青少年の健全育成に使ってほしいということで、それぞれの地域で色々考えられたようです。龍江ではりんご園を作ることにしたのですが、なぜそうしたのでしょか。それは、次のようなわけからです。

清水さんは市長になるずっと前、16歳の時に農業の学校に入り農業について勉強をして農家の人に色々教える指導員になりました。あちこちで指導をしていましたが、90年ほど前、龍江地区で指導をするようになりました。その頃は龍江の主な産業は、養蚕でした。お蚕様を飼って繭を出荷する仕事です。工場に出荷された後に繭から生糸をとり、外国にも輸出して大変お金になったんですね。清水さんはそんな時、養蚕だけでは売れなくなったりしたときに農家が潰れてしまう。多角経営ということで龍江でよく育つりんごの栽培を広めたそうです。最初はなかなか栽培してくれる人がいなくて苦労したそうですが、10年以上かかってりんご農家を増やしていき、今の龍江につながったそうです。

そこで、清水重美さんの気持ちを生かし未来につなげていくためには龍江ではりんご園を作ることがいいだろうと思ったのだと思います。

ではりんご園があることがどうして、「青少年の健全育成」になるのでしょうか。当時の人たちから話を聞くことができていませんが、りんごを育て収穫する活動を通して、よい心が育つはずだと考えたのではと先生は思っています。たとえば「自然のもつ力を感じ、感謝する心」「協力して仕事をする心」「地域の良さを知り地域の人とつながり龍江を大切に作る心」などが考えられます。

今までにない活動をこれから考えていくと、もっともっと皆さんの心が豊かになると思います。この他にどんな活動ができるか皆さんで考えて、新しい伝統を作っていってほしいと思います。(略)

児童会 引継ぎへ

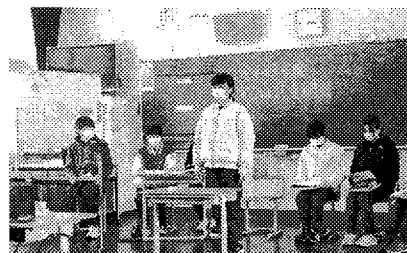
2月3日に児童会選挙の立会演説会と投票がありました。教室訪問や昇降口での呼びかけはできましたが、今年もオンラインでの立会演説会となり、教室の大型液晶で候補者の演説をしっかりと聞き取っていました。

17日にはやはりオンラインでの児童総会を行い、いよいよ6年生から5年生へと引継ぎが行われました。コロナ禍で大変な児童会活動でしたが、様々に工夫をして、学校生活を楽しくしてくれた6年生です。

5年生も、自分たちらしい工夫をしながらも龍江小の伝統を受け継いだ活動をしていってほしいと、期待しています。

【児童総会 上:会長挨拶

下:委員長引継ぎ】



【3月の主な予定】

1日(火) 街頭指導 安全の日	10日(木) PTA会計監査
2日(水) 地区児童会	11日(金) 5時間授業(～15)
7日(月) ドローン全校写真撮影	16日(水) 3学期終業式 卒業式準備 低下校 14:30
8日(火) 6年生を送る会 PTA役員引継ぎ会	17日(木) 卒業式 下校 11:30
9日(水) 学期末清掃(～15)	18日(金) 春休み(～4/5)
	25日(金) 新年度準備登校(新5・6年)

お知らせ・お願い

○4月の主な予定をお知らせします。

※今後変更がある場合もあります

6日(水) 始業式・入学式 午前中授業(給食なし)
11日(月) 1年給食開始
15日(金) 参観日① PTA総会(歓迎会)
19日(火) 6年全国学力学習状況調査
20日(水)～25日(月) 家庭訪問 (1年生と担任が替わった学年)

○書き損じはがき集めへの協力をありがとうございました。お陰様で200枚以上集まりました。

○道路横断 要注意

登下校で、県道米川飯田線や県道富山佐久間線を横断する児童が沢山います。横断歩道で渡る場合も、必ず車が止まったのを確認することや横断中も追い越し等の車がないかを確認しながら渡ることを指導しています。大変かと思いますが、ご家庭でも横断の様子を見たり注意の声がけをしていただくようお願いいたします。

学校でも駐在署や地区の安全委員会との連携をとりながら、安全な登下校ができるように努めて参ります。